

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2013年	インターン番号	TA001	タイプ	提案型
派遣国	インドネシア共和国		派遣都市	バンドウン	
受入機関	PT.CATURINDO AGUNGJAYA RUBBER (PT.CAR)				
受入機関概要 (事業内容等)	自動車用ゴム製品(ラジエーターホース、ウェザーストリップ、各種プレス製品等)の製造及び販売。従業員は700名程度。				
派遣期間	2013年10月7日 ~ 2014年2月28日				
現在の所属先	広島化成(株)	当時の所属先	同左		
現在の所属部署	海外営業・技術グループ 海外営業・技術課	所在地	広島県		
区分	中小企業	性別	男		

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

自動車業界において、インドネシア進出が活発に行なわれていました。これに追従する形で弊社内においてもインドネシアでの長期的な活動が検討されており、ゆくゆく目標として合弁会社の設立が掲げられていました。こういった背景があったため、現地でのインターン経験は自身の将来的なキャリアにおいて、非常にプラスになるだろうと考え、参加を決意しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

インドネシアでのゴム製品の生産プロセスについて把握するために、実際の製造現場において見学を行いました。また、自社のインドネシア展開の一助とするため、現地サプライヤーにコンタクトを取り、インドネシアにて調達可能な材料について調査を行いました。さらに、その材料を使用して生産性の良い配合の立案・試作を行いました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

現地の生産工場及び設備の見学、製品の品質に関する考え方について触れる事で、日本との認識の差を学ぶことができ、その中で自社の強みとしてインドネシアでアピールすべきポイントを見つけることができました。また、インドネシアにて調達可能な原材料をコストも含めて確認することができ、種々のコスト検証を行うための資料とすることができました。

良かったこととしては、様々な業種のインターンの方々と交流できたことです。今でも親交があり、色々な形で情報交換をすることができ、業務だけに留まらず多方面においても非常に参考になっております。また、インターンシップを経ることで、行動力、柔軟性、コミュニケーション能力を向上させることができ、対応できる幅が広がったと感じています。

インターンシップ風景



CARスタッフ協力のもと配合試験用の材料の作成を行った。



テスト材料にて製品試作を行った。写真はウェザーストリップを作成しているところ。

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

広島化成(株)はゴム・プラスチック製品の製造販売を行なっている会社で、産業樹脂製品、自動車用工業ゴム製品を扱っています。私はインターンシップ参加前においては、設計・技術グループに所属しており、材料の開発・生産工程の設計を主な業務として活動していました。

インターンシップ後はインターン時の活動が評価され、新設された海外営業・技術グループへ異動となり、今までの業務と併せて、技術営業としてインドネシアでの販路開拓を期待されています。最近では、受入先となって頂いたPT.CARとインドネシアにおいて合弁会社を設立することとなり、インターン時に築いた関係性を基にして両社の橋渡しとしての役割を担っています。このまま順調に進捗すれば、2016年の中旬頃には現地駐在員としてインドネシアに赴任することになると思います。

インターンシップ中においては、PT.CARに仲介して頂き、様々な企業の方とコンタクトを取り、各業界の実情を直に伺うことができたため、インドネシアにおける営業計画作成のための一助となりました。現在では、その内の数社と受注に向けた前向きな話をさせて頂いております。これからもこの人脈を活かした形での販路拡大が望めると見込んでいます。

また、従業員の雇用について、宗教や習慣からくる日本とのギャップを身をもって体感できたことも収穫だったと思っています。この経験は将来的に合弁会社で従業員を雇用する際の管理体制の構築に必ず役に立つと感じています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

このインターンシップは現地企業を内部から、実務を体験しながら長期間観察できるため、外国企業での就労に興味のある学生の方や海外進出を目指している企業の方にとって非常に良いプログラムだと思います。

また、インターン前、インターン中、インターン後においてもHIDAの方々から万全のフォローを受けることができ、現地の事情に精通していなくても問題なく活動できるので非常にお勧めです。

現在の活躍の様子



合弁会社の工場候補地を視察。



合弁会社の事務所候補地を視察。